

## 東栄小学校創立140周年 伝統の獅子踊り、教育活動に



二〇二二年七月  
鶴岡市立東栄小学校

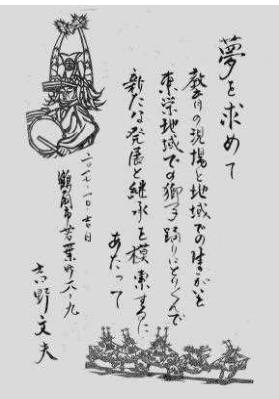
藤島地域の東栄小学校（粕谷温子校長、児童65人）で23日、創立140周年記念式・記念行事が開催されました。

同校は1882（明治15）年に開校しました。

伝統の獅子踊りは、1992（平成4）年3月に実行委員会が発足し、翌年から正式に、学校の教育活動に位置づけ、継承されてきました。

当日は9時から記念式が行われ、10時から同窓会（沓澤実会長）主催の記念行事（成田裕樹実行委員長）が開催され、添川と東堀越の獅子踊りを児童が披露し、全校合唱「東栄の四季」が歌われました。

東栄小学校の獅子踊り発足に関わった吉野文夫先生（今年5月30日逝去）が、「民報藤島」に1998年6月28日号から14回連載した文集が、参加者に配布されました。



## 村の四季

⑨

鈴木重雄（八色木）

### ■巫女聞き

川原に陽炎が立ち、柳が淡い緑色の芽をふく頃、農家は種籾の塩水選や、春蒔き野菜の準備に追われる。今年の農作業の出発である。彼岸は中日を前後してもある。

この頃を中心に、村に巫女がやって来る。巫女は村人の相談に応じたり、身の上を占ったり、今年の吉凶を予言する。それは神や仏と交信し、意思を伝達する神霊である。巫女は、盲目か、ほんの少し目が見える女の人が行く。

この人たちは、生きていくために盲目特有の鋭い勘を、厳しい修行によって練り上げられ、研ぎ澄まされた感覚を身につけるようになったのだ。

ごく普通のおばさんが、神前に向かい呪文を唱えようと、別人のようになり威儀を正し、しゃんとする。

彼岸に入ると村では年寄りたちが相談し、巫女聞きをする。巫女は白装束に長い数珠を持ち、付き添いの人に手を引かれてやって来る。

村の人たちは何人か、薬師堂に集まり共同で巫女聞きをする。ご本尊様に向かい、呪文を唱え、数珠を両手に挟み、ジャリジャリと揉む。この呪文はお経でもなく、祝詞でもない、独特の経文であるが、七五調のような名調子で進むにつれて、女た

ちは手を合わせて神霊に引き込まれていく。

これを神ノ口（神遊び）と言う。仏前で言うときは仏ノ口（仏遊び）と言う。聞き手は代表者1人に限られていた。

聞き手は、「何か変わり事あったら教えてくれや」と聞くと、巫女は、「変わり別は別はねけども、北がかりから来る悪い風邪はやると見えるぞー。幼児の車の過ちが見えるぞエー」と答える。

さらに「他に何か」と聞くと、「〇〇の方角に、火の過ちが見えるぞー。まめや達者で、災難ばかりは逃れるように、あい守るぞー」こんなやり取りであった。村人たちはこの託宣を信じて、互いに気をつけるので、難なく1年を過ごすのである。

個人で聞く場合は、巫女が呪文を唱えているうちに、死者の霊が出てくる。聞き手はこの時とばかり、亡霊と会話するのである。

「タカエボシ（男の子）、ヒナドリ（女の子）、壁の外（他家に行った人）、〇月頃、枕かたがる（病気になる）。〇〇の方角に良縁がある」「私が元気でいけば、孫たちを抱いてかわいがんなだども、どうしてあんなに早く逝ったもんだが。まめや達者でいれるように守りおくぞエー」。これは死者の口説であり、家族へのメッセージである。

様式第16号  
車賃(ガソリン代)内訳書

※領収書(写)添付願います。  
会派名:新政クラブ  
議員名:渋谷 耕一

令和3年度 8月分

月日	用務	走行区間	走行距離(km)
8/11	下川 同定資産税相談 南藤川庄地区 現地	自宅 ~ 南藤川庄	20
13	評税課 評税相談	〃 ~ 庁舎	25
14	本町 商工会 懇談会	〃 ~ 本町	28
17	湯小浴場 足湯調査 湯小浴場 湯小浴場	湯小浴場 ~ 湯小浴場	145
17	温泉施設 温泉調査 湯小浴場 湯小浴場	湯小浴場 ~ 湯小浴場	165
19	朝日建設企業 懇談会 朝日建設企業 朝日建設企業	自宅 ~ 朝日	20
23	会派へ議案用取り	〃 ~ 庁舎	25
26	議案調査	〃 ~ 庁舎	25
30	〃	〃 ~ 庁舎	25
1	〃	〃 ~ 〃	〃
合計			478 km

※1日の走行距離に1km未満の端数が生じたときは、これを切り捨てて算出し、車賃を普通車29円/km、軽乗用車21円/kmとする。  
合計走行距離(端数切捨) (普通車車賃)  
車賃: 478 km × 29円 = 13862 円

## 政活費のガソリン代内訳

鶴岡市議会政務活動費の令和3年度分が7月15日、市議会HPに公開されました。新政クラブが支出していた自家用車のガソリン代は、「手引き」の見直しで、今年度から認めないこととし、令和3年度分が最後です。右に、渋谷耕一議員

のガソリン代内訳書(令和3年度8月分)を示しました。海水浴場実態調査や温泉施設調査など、走行距離が1日で150キロ前後を走り、自家用車のガソリン代にこれまで、毎月1万円超を受給してきました。

◆余目町の日下部勇一議員(全巴)と同町榎島、共産党は二十日、町議会定例会で通算百回目の一般質問に立ち、人の心を引き込む独特の「勇一節」で、熱弁を振るった。写真、町議会では定例会最終日の二十四日、百回目を記念し表彰状を贈ることにしている。

# ひと

## 日下部勇一 (庄内町榎島)

### 波瀾(乱)万丈の人生

青山 崇

### ■終るにあたって

高校にも行けず、若勢に出て、ろくに勉強できない環境だったのに、これほどの文章がよく書けるとまず感心させられた。

### 「必要は発明の母」

というが、青年運動のリーダーや議員生活の中で、努力で、培われたものと思う。

俺は書くのはまったく駄目だという人がいるが、それは、書く立場に立たされず、何度も何度も書かないからである。

つぎは、勇一はまだ小学校4年、下に小学校2年の妹、次男で6歳の忠らを残して、父

が42歳の若さで他界したことである。しかし、それで友達扱いされなかつたり、けなされたりすることはなかった。

むしろ滑稽さが抜きんでて、友達を楽しませる、もって生まれた才能の持ち主だったようだ。

「文房具もあり合わせ物だった。そんな時、S君から、ブリキ製の両開きの高価な筆入れを買ったときは、涙が出る程嬉しかった」と書いていたが、友だちと仲が良かったことを

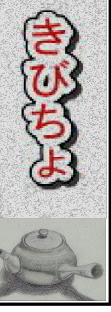
「父親である」故佐藤幸夫さんの姿が、いつも書いている私の頭を行き来していた。

余目・庄内町民はこのことをよく知っていて、41年間の議員を委託したのだろう。

「おかげで暗い波乱万丈ではなく、明るく楽しい波乱万丈を書かせて戴いた。」

示す好例である。だが背景には、母・祖母の経済的困窮の中でもめげない意地と、生きる力があつたのだろう。

おかげで暗い波乱万丈ではなく、明るく楽しい波乱万丈を書かせて戴いた。



### ■国葬に反対だ

国葬ってなんだ？暮らした良くなったか？何か良い事したか？そりゃあ確かに交戦派にあっては実績になったかも。でもそれは、戦争法でも秘密保護法でも、盗聴法・共謀罪法も、国民と野党の声を十分に聴かないで強行採決だっただろ。これじゃ戦争する国になるって、国会前で連日反対の声を上げてるのにダゼ。

▲自分の考えを押し通すために、法制局長官を替えては憲法の読み方を変え、日銀総裁を替えては今でも良くは分からないアベノミクスを続け、時には統計まで誤魔化して景気が良いからと、消費税を2度も上げてきたんだ。

▲8年以上も首相やってきたってか。その間途中で何人大臣辞めたヤ。そんな事件を、東京高検の検事長を取り

換えてナンボ不起訴にしたヤ。桜を観る会で安倍晋三首相が訴えられた件は、不受理だったじゃないですか。

▲大臣の不祥事が明らかになる度、私に選任責任があると責任をとり、どんな責任をとった？読者の貴方に記憶がないでしょ。何もしなかつたんだから。今の鶴岡市長は、前任者のした仕事なのに、市長として責任を取るとして、給料をガツポリ減らしているんですよ。

アベという人は、そんな事もしなかつたんだ。

▲私の時代で、と張り切っていた北方領土問題。27回もウラジミールさんとお食事をしてる間に、2島が怪しくなったとは、どんな実績だ。岸田首相は国民に説明責任が。

▲彼が逝ったことで、敵基地攻撃・核の共有、台湾の有事は・・・などの声が少し遠くなればいいが。(石川)

## 「ひとしおの思い」と100回目の「勇一節」



日下部議員は昭和四十九年六月の補欠選挙で初当選以来、八期連続当選を飾った。その間、一般質問を

## 記者席ノート

休んだのは体調を崩して入院していた平成八年の十二月定例会だけ。昭和五十年代に町を揺るがした汚職事件などで、真相解明に向けた鋭い質問を続けてきた。「一般質問は町民の声を町に届け、それを実現させる場。百回目はひとしおの思い」と、この日も、食糧費と交際費について町の考えをただした。日下部議員は「町政の発展、議会の活性化のためだったら二百回を目指していく」と、決意を新たにしていた。